


職員研修報告書 (法人・内部・外部)

施設長印	担当印
	

施設名: 光明第四保育園 氏名: 田井みゆみ

○日時 令和5年11月28日(火)

○テーマ 初任者研修会

○講師 岡田園長、浜脇センター長

*記録内容 ・①~③は必須、その他自由記載とする。

- ① 内容要約 ② 考察 ③ 今後どのように施設でいかしていくか

① 内要約

- 1 開始挨拶、本日の趣旨説明
- 2 グループご自己紹介
- 3 講義「福祉職員の基本理念とメンバーシップ」
- 4 プレゼンテーション結果の紹介とミニレクタイム
- 5 グループ討議1「時間の使い方について」
- 6 グループ討議2「コミュニケーション上達術」
- 7 KJ法を用いたグループワーク
- 8 グループワークのプレゼンテーション
- 9 本日のまとめ

② 考察

グループ討議1の「時間の使い方について」では、課題点として、

- ・休憩時間の確保ができていない
- ・サービス残業(業務が時間内に終わらない)
- ・午睡時間が、連絡帳の記入で終わってほう
がまが奪われていた。また、クラスで話し合う時間もあまり取れず、保育が
曖昧になってしまっていることもあるようだ。時間の余裕ができれば、心にも
余裕ができて、よりよいサービスの提供やパフォーマンスに繋がると思う。
改善していく為に、日々の仕事内容や保育を振り返り、職員間での
課題点や気づきを発信していくことで、業務を簡素化することが必要
だと感じた。

グループ討議2の「コミュニケーション上達術」では、講義の内容を振り返
りのあたり「人間力を高めることが重要だ」ということが、グループ内の意見として

多く学んでいた。人間関係をスムーズにしていく為にも、明るい挨拶や笑顔など基本の姿勢が大切でありと感じた。特に職員同士とのコミュニケーションでは、相手のことを知り、信頼を深めていく中で、温かい雰囲気を作られ、子ども達のよりよい成長にも繋がっていくと思う。

③/今後どのように活かしていくか

講義やワークや討議を通して、福祉職員としての責任を持ち、地域の方々や子どもたち、保護者の方などに安心感や信頼をもって接するよう丁寧な関わりを心がけていきたい。特に組織の一員として、会議やワークの話し合いなどでは、課題点・改善点を共有し、当事者意識を強く持ちながら参加していきたい。時間の使い方については、先輩の方法を真似てみたり、仕事内容に慣れたりすることによって業務の効率化を図り、充実させていきたい。

職員研修報告書 (法人・内部・外部)

施設長印	担当印
	

施設名：光明第四こども園 氏名：紅林 さくら

○日時 令和 5 年 11 月 28 日 (火)

○テーマ 等級役割別研修 初任者研修

○講師 多摩養育園研修担当 岡田園長 浜脇センター長

*記録内容 ・①~③は必須、その他自由記載とする。

① 内容要約 ②考察 ③今後どのように施設でいかしていくか

① 内容要約
1 開始挨拶・本日の趣旨説明
2 グループでの自己紹介
3 講義「福祉職員の基本理念とメンバーシップ」
4 アンケート結果の紹介とミニブレイクタイム
5 グループ討議1 「時間の使い方」
6 グループ討議2 「コミュニケーション上達術」
7 KJ法を用いたグループワーク
8 グループワークのプレゼンテーション
9 本日のまとめ
② 考察
グループ討議では、「時間の使い方」「コミュニケーション上達術」について困っていることとそれについてのアドバイスを話し合った。
「効率のいい時間の使い方」に関しては、効率のいい使い方を考え、上司に相談して実践すること、声を掛け合って役割分担していくこと、去年までのものを参考にすることが意見として挙げた。「コミュニケーション上達術」に関しては、挨拶をすること、笑顔でいること、明るく柔らかい声を意識すること、相談や質問をすること、名前を呼ぶこと、保護者に対しては、さらに子どもの様子を伝えていくことが意見として挙げた。二つの話し合いを通し、KJ法を作った際に、チーム保育の仕事をする上で人との関わりが大切だと感じた。子どもだけでなく職場の人、保護者、地域の人など人との関わりが親密になり、相談や質問を通して自分の目標が定まり、挑戦することへと繋がるこれが「成長」だと考えた。

また、今回話し合いをすることで実際にどういったことに困っているのか整理をしながら取り組むことができた。チーム内でアドバイスを出し合ったりすることで自分が知らなかったことに気付くことができた。さらに自分で考えて意見を伝えることができたことに嬉しさを感じた。グループ内で担当している年齢が違ったため、勉強になる部分もたくさんあり、とても充実した時間になった。自分を見つめなおす機会にもなったため今後も、自分と向き合いながら努めていきたい。

③ 今後どのように活かしていけるか

私たち保育の仕事はチームが大切である。チームにおいて、今回私たちが話し合いのなかで大切なものや成長に繋がるものを考えることができた。

チーム保育は、組織としての目標を定め、確認することから始まる。そしてそれをチームが理解し、知識や技術を磨き、協力し合うことが大切である。そのため、自分自身も目標となる人や目標を決め、職員と声を掛け合って役割分担をしながらチームに貢献していきたい。また、当事者意識を持って視野を広げ、個人としてもチームとしても何ができるのか先を見据えて考えながら行動していきたい。

最後に、一年目としてわからないことも多く、初めてで戸惑ってしまうことも多いが、それを言い訳にするのではなく、年間予定表を見たり先輩に聞きながらするべきことに自分から気付いたりして行動していきたい。